

# 令和3年度 学力向上プラン 小学校

〈R3 学力向上スローガン〉  
分かる・できる・楽しいを実感

## 〈本市の目標〉

- 夢を描き志を立て、学習に主体的に取り組む児童生徒の育成
  - 「アンダーアチーバー 0（ゼロ）の実現」及び「学力上位層の伸長」
  - 当該学年で目指す資質・能力育成の充実
- ～「全国学力・学習状況調査」「鹿児島県学力調査」「鹿児島県学力調査」のいざよひ全数

## 〈R2 課題〉

- 【児童生徒】 自己解決力
- 【教師】 授業における考える時間の確保
- 【職員集団】 認知特性に応じた指導法を共有し、改善する

## 夢・立志

### めざす児童の姿

将来の夢の実現に向けて、お互いに学び合い生き抜く力を育む

教科	鹿児島学習定着度調査 (県平均通過率との差) 5年生		
	R2年度	目標値	R3結果
国語	+1.2	+1.0	
社会	+2.3	+1.0	
算数	-2.7	+1.0	
理科	+6.1	+1.0	

教科	全国学力・学習状況調査 (全国との差)		
	R3 6年生	これまで R2 (県との差)	R元
国語			
算数			
理科		—	—

視点	年間を通して目指す姿	責任者	学校評価に基づく評価		1 学期			2 学期			3 学期		
			〔成果指標〕	目標値	1 学期 共通実践事項	評価	結果 (数値を入れて、どの程度できたか。)	2 学期 共通実践事項	評価	結果 (数値を入れて、どの程度できたか。)	3 学期 共通実践事項	評価	○児童生徒・職員の変容 ★次年度への課題
授業の向上	【児童生徒】 自分の意見や考えを、根拠を明確にして表現し、自己解決力を図る児童	各担任	自分の考えをしっかりとノートまたはタブレットに書き、理由をつけて発表できたか。	3.0	授業の中で、自分の考えを書く場面を1日に1回以上設定する。								
	【教師】 学習の手引きやICT機器を活用しながら、授業の中で考える時間を確保し児童の自己解決力を育成する教師	教育方法係 各担任	手引きやICT機器を活用しながら、個に応じて、児童が自信をもって発表できるように考える時間を確保することができたか。	3.0	学習の手引きやタブレットを使い、児童が考える時間を1日に1回以上設定する。								
	【職員集団】 校内研修を通して児童の認知特性に応じた指導法について共有しながら改善を図り合う職員集団	研修係	児童一人一人の特性に応じた指導ができるように、積極的に情報を共有したり、特別支援教育やICT機器等について学んだりすることに努めているか。	3.0	児童の情報を共有する時間を週に1回以上確保する。								

学びの基礎	めざす児童の姿
	3分前行動、学習のルール、自学自習ができる児童 (霧島地区共通実践事項の徹底)

アンダーアチーバー	3年生	4年生	5年生	6年生
前学年時	名	名	名	名

全国学力・学習状況調査 (質問紙) 3年生	R2年度	目標値	R3年度	R4年2月 (校内調査)
※ 「①当てはまる」 + 「②どちらかという当てはまる」				
将来の夢や目標をもっている。	100%	80%	%	%
自分には、よいところがあると思う。	100%	80%	%	%
自分で計画を立てて勉強している。	100%	80%	%	%